

2012年8月期 上期業績 および通期見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ執行役員 CFO

1

CFOの岡崎です。
私から、2012年8月期上期の業績、および
通期の業績見通しについてご説明いたします。

I. 2012年8月期 上期実績	P3	～	P15
II. 2012年8月期 通期業績予想	P16	～	P19
III. ご参考資料	P20	～	P24

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

(2012年8月期)

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジュー事業が含まれています。

(2011年8月期)

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロ(靴事業含む)の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、ジュー事業、
キャビン事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2012年8月期 上期実績

売上高:5,255億円(前年同期比+14.9%)
 営業利益:917億円(前年同期比+11.8%)
 経常利益:935億円(前年同期比+20.5%)

	2011年8月期		2012年8月期 上期		
	上期実績	直近予想 (1/12時点)	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,573 100.0%	5,210 100.0%	5,255 100.0%	+14.9%	+0.9%
売上総利益 (売上比)	2,384 52.1%	2,620 50.3%	2,684 51.1%	+12.6% ▲1.0p	+2.5% +0.8p
販管費 (売上比)	1,563 34.2%	1,795 34.5%	1,767 33.6%	+13.0% ▲0.6p	▲1.5% ▲0.9p
営業利益 (売上比)	820 17.9%	825 15.8%	917 17.5%	+11.8% ▲0.4p	+11.2% +1.7p
経常利益 (売上比)	776 17.0%	800 15.4%	935 17.8%	+20.5% +0.8p	+16.9% +2.4p
純利益 (売上比)	416 9.1%	455 8.7%	577 11.0%	+38.7% +1.9p	+27.0% +2.3p

単位: 億円

3

2012年8月期 上期の連結業績ですが、
 売上高は5,255億円、前年同期比14.9%増、
 営業利益は917億円、同11.8%増、
 経常利益は935億円、同20.5%増、
 純利益は577億円、同38.7%増となりました。

次のスライドで要因をご説明いたします。

【連結】上期 増収増益の要因

売上高 5,255億円(前年同期比 +14.9%、681億円増収)

- ・ 海外ユニクロ事業 +345億円
- ・ 国内ユニクロ事業 +224億円
- ・ グローバルブランド事業 +110億円

売上高総利益率51.1%(前年同期比 ▲1.0p)

- ・ 国内ユニクロ事業 ▲1.3p

売上高販管費比率33.6%(前年同期比 ▲0.6p)

- ・ 国内ユニクロ事業、持ち株会社で経費削減

営業利益 917億円、営業利益率17.5%(前年同期比 ▲0.4p)

経常利益 935億円、経常利益率17.8%(前年同期比 +0.8p)

- ・ 営業外収支が前年同期比で61億円改善

純利益 577億円、前年同期比38.7%増

- ・ 前年同期に会計処理変更に伴う特別損失96億円を計上

4

まず売上高ですが、5,255億円と前年同期比14.9%、681億円の増収となりました。その内訳としては、海外ユニクロ事業が345億円の増収、国内ユニクロ事業が224億円の増収、グローバルブランド事業が110億円の増収となっております。

売上高総利益率は51.1%と、前年同期比1.0ポイント低下いたしました。粗利益率低下の要因としては、国内ユニクロ事業の粗利益率が、同1.3ポイント低下したことがあげられます。

売上高販管費比率は33.6%と、前年同期比0.6ポイント低下しております。これは、国内ユニクロ事業や持ち株会社であるファーストリテイリングで経費が削減できたことによるものです。

これらの結果、営業利益は917億円、営業利益率は17.5%と、同0.4ポイント低下いたしました。

経常利益につきましては935億円、経常利益率は17.8%と、同0.8ポイント上昇しております。

経常利益率が改善した要因は、円安により、前年同期で計上されていた為替差損38億円が、今期は16億円の為替差益に転じ、営業外収支が前年同期比61億円改善したことによります。

純利益は577億円、前年同期比38.7%増となりました。

純利益が大幅増となった要因としては、前年同期に計上されていた会計処理変更に伴う特別損失96億円がなくなった影響によるものです。

上期 グループ事業別実績

単位：億円

		2011年8月期		2012年8月期	
		上期実績	上期実績	前年同期比	
国内ユニクロ事業 ※1	売上高	3,421	3,645	+6.6%	
	営業利益	703	722	+2.7%	
	(売上比)	20.6%	19.8%		▲0.8p
海外ユニクロ事業	売上高	502	848	+68.8%	
	営業利益	78	114	+45.1%	
	(売上比)	15.7%	13.5%		▲2.2p
グローバルブランド事業	売上高	637	748	+17.4%	
	営業利益	51	79	+53.0%	
	(売上比)	8.1%	10.6%		+2.5p

注 連結売上高には上記のほか、ファーストリテイリングの売上高が含まれております。また、連結営業利益には、上記のほかファーストリテイリングの営業損益、のれん償却費が含まれております。

※1 国内ユニクロ事業：2011年8月期の上期には靴専門店事業の売上高27億円、営業損失▲8億円が含まれております。靴専門店事業は2011年8月末までに全店舗を閉店しており、2012年8月期には含まれておりません。

5

グループ事業別の業績は、こちらのスライドの通りです。

国内ユニクロ事業の売上高は3,645億円、営業利益は722億円、
海外ユニクロ事業の売上高は848億円、営業利益は114億円、
グローバルブランド事業の売上高は748億円、営業利益は79億円
となっており、海外ユニクロ事業の連結業績への貢献度が高まっております。

1月12日に発表いたしました直近予想に比べて、営業利益は、国内ユニクロ事業で42億円、海外ユニクロ事業で15億円、グローバルブランド事業で5億円それぞれ上回っております。

また、持ち株会社であるファーストリテイリングについても、営業利益が30億円上回りました。これは子会社の売上高が予想を上回ったことによるロイヤリティ収入の増加と経費削減の効果が出たことによります。

上期 増収増益

直近予想比: 売上高+45億円、営業利益+42億円上回る

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期 上期			
	上期実績	直近予想 (1/12時点)	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	3,421 100.0%	3,600 100.0%	3,645 100.0%	+6.6%	+1.3%
売上総利益 (売上比)	1,695 49.5%	1,725 47.9%	1,758 48.2%	+3.7% ▲1.3p	+1.9% +0.3p
販管費 (売上比)	991 29.0%	1,045 29.0%	1,035 28.4%	+4.5% ▲0.6p	▲0.9% ▲0.6p
営業利益 (売上比)	703 20.6%	680 18.9%	722 19.8%	+2.7% ▲0.8p	+6.2% +0.9p

6

ここからは各事業についてご説明いたします。

まず国内ユニクロ事業ですが、上期の売上高は3,645億円、前年同期比6.6%増、営業利益は722億円、同2.7%増と、増収増益の結果となりました。

1月12日に発表いたしました直近予想に比べて、売上高は45億円、粗利益率は0.3ポイント上回ったことに加え、販管費についても10億円削減できたことから、営業利益は42億円、直近予想を上回る結果となっております。

詳細については、次のスライドでご説明させていただきます。

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

上期 売上高 3,645億円(前年同期比 +6.6%)

ユニクロ直営店 2012年2月末 828店舗(FC店21店舗を除く)
前年同期末比+24店舗

既存店売上高 前年比+2.3%(客数 ▲4.9%、客単価+7.6%)

- ・12月以降、気温が低く推移、ヒートテックをはじめとする冬物商品の販売が好調
- ・客単価上昇:ウルトラライトダウン、暖パン、マイクロフリースセットなど
比較的単価が高い商品の販売が好調

直営既存店 前年比	2012年8月期						
	1Q	12月	1月	2月	2Q	上期	3月
売上高	▲4.0%	+14.2%	+7.9%	+1.2%	+10.1%	+2.3%	+5.1%
客数	▲9.6%	+2.4%	▲1.5%	▲2.2%	+0.3%	▲4.9%	+2.4%
客単価	+6.2%	+11.6%	+9.5%	+3.5%	+9.8%	+7.6%	+2.7%

7

まず、上期の売上高ですが、前年同期比6.6%増となりました。
これは、直営店舗数が前年同期末比で24店舗増加し、828店舗となったこと、既存店売上高が前年比2.3%の増収となったことが要因です。

既存店売上高2.3%増の内訳としては、客数で4.9%のマイナスとなった一方で、客単価は7.6%のプラスとなっております。

12月以降、気温が低く推移したことにより、ヒートテックをはじめとする冬物商品の販売が好調だったことから、第2四半期3ヶ月間の既存店売上高は前年比10.1%増と、大幅な増収を達成することができました。

客単価が上昇したのはウルトラライトダウン、暖パン、マイクロフリースセットといった、比較的単価が高い冬物コア商品の販売が好調だったためです。
なお、ヒートテックはグローバルで1億点を計画通り完売することができました。

上期 売上高総利益率 48.2%(前年同期比 ▲1.3p)

直近予想比: 0.3ポイント上回る

売上高総利益率が前年同期比で低下した要因

- ・綿花をはじめとする素材価格、生産工場の加工賃が上昇
- ・集客を目的としたヒートテック限定販売の強化

売上高総利益率が直近予想比で上回った要因

- ・12月以降、気温が低く推移、冬物コア商品を中心に販売が好調、予想よりも値下げ幅を抑制

上期の売上高総利益率は、48.2%と、前年同期比1.3ポイント低下いたしました。ただしこれは、1月の直近予想に対して0.3ポイント上回る水準となっております。

粗利益率が前年同期比で低下した要因としては、綿花をはじめとする素材価格や生産工場の加工賃が上昇したことによります。また、集客を目的としたヒートテックの限定販売を強化したことも要因です。

一方で、粗利益率が直近予想から上回った要因としては、12月以降、気温が低く推移したことで、冬物コア商品を中心に販売が好調となり、予想よりも値下げ幅が抑制できたことがあげられます。

【国内ユニクロ事業】販管費

上期 売上高販管費比率 28.4% (前年同期比 ▲0.6p)
直近予想比 販管費 ▲10億円削減

単位: 億円

	2011年8月期 上期		2012年8月期 上期			
	実績	(売上比)	実績	(売上比)	増減	(売上比)
販管費合計	991	29.0%	1,035	28.4%	+43	▲0.6p
人件費	298	8.7%	290	8.0%	▲7	▲0.7p
広告宣伝費	146	4.3%	151	4.2%	+4	▲0.1p
賃借料	213	6.2%	233	6.4%	+19	+0.2p
減価償却費	29	0.9%	33	0.9%	+3	+0.0p
その他経費	302	8.9%	325	8.9%	+22	+0.0p

9

上期の売上高販管費比率は28.4%と、前年同期比0.6ポイント改善いたしました。販管費は、直近予想に比べて10億円の削減となっております。

人件費比率が前年同期比0.7ポイント下がった要因は、今期から生産部の人員を中国子会社に出向させたことで、国内ユニクロ事業の人件費が減少したことによります。ただし、ほぼ同額が委託費として、その他経費に含まれております。

その他経費では、運送・倉庫費、委託費などの経費を削減することができております。

【海外ユニクロ事業】上期実績(1)

大幅な増収増益を達成

営業利益は予想を15億円上回る

上期の純増店舗数53店舗、2月末で234店舗まで拡大

営業利益率は▲2.2ptの低下、

グローバル旗艦店オープンコスト負担の影響による

1Q:グローバル旗艦店3店舗のオープンコスト負担により▲5.2p

2Q: +1.1p上昇

単位:億円

		2011年8月期		2012年8月期	
		上期実績	上期実績	前年同期比	
海外ユニクロ事業	売上高	502	848	+68.8%	
	営業利益	78	114	+45.1%	
	(売上比)	15.7%	13.5%	▲2.2p	

次に、海外ユニクロ事業ですが、売上高は848億円、前年同期比68.8%増、営業利益は114億円、同45.1%増の大幅な増収増益を達成いたしました。営業利益は直近の予想から15億円上回る水準となっております。

海外ユニクロ事業全体では、この上期に55店舗を出店し、2店舗を閉店したことから、53店舗純増し、2月末の店舗数は234店舗まで拡大しております。

上期の海外ユニクロ事業の営業利益率は13.5%と、前年同期比2.2ポイント低下しておりますが、これは第1四半期の営業利益率が、グローバル旗艦店3店舗の出店に関わるオープンコスト負担により、同5.2ポイント低下したことによりです。コスト負担が減少した第2四半期3ヶ月間の営業利益率は、同1.1ポイント上昇しております。

【海外ユニクロ事業】上期実績(2)

- 中国・香港：業績は計画を上回り、大幅な増収増益
計画通り34店舗を出店、既存店売上高の二桁増収続く
- 台湾：グローバル旗艦店、テレビCM効果で好調な売上、予想を上回る
- 韓国：グローバル旗艦店、テレビCM効果で既存店は二桁増収、
予想を上回る
- シンガポール・マレーシア：計画通り、順調な業績
- タイ：3店舗を出店、好調な売上
- 米国：グローバル旗艦店のオープンコスト負担に加え、
34丁目店は計画を下回り、上期は赤字
- フランス：グローバル旗艦店パリ オペラ店の増収続く、
計画通りの業績
- 英国：売上、利益ともに計画未達、減益
- ロシア：収益性が改善、上期は黒字

11

中国・香港では、上期の業績は計画を上回り、大幅な増収増益となりました。上期は計画通り34店舗を出店したことに加え、既存店売上高も二桁増収が続いております。

台湾では、この上期に出店したグローバル旗艦店やテレビCMの効果により、好調な売上となり、業績は予想を上回っております。

韓国でも、この上期に出店したグローバル旗艦店や、テレビCMの効果により、既存店売上高の二桁増収が続き、業績は予想を上回りました。

シンガポール・マレーシアについては、計画通り、順調な業績となっております。

9月に進出したタイ事業は、この2月末で3店舗となり、好調な売上となっております。

米国事業は、グローバル旗艦店のオープンコスト負担に加え、主に34丁目店の売上が計画を下回っていることから、上期の業績は赤字となっております。

フランスでは、グローバル旗艦店パリ オペラ店の増収が続いており、計画通りの業績を達成いたしました。

英国では、売上、利益ともに計画未達、減益となっております。

ロシアでは、収益性が改善し、上期は黒字を達成することができました。

増収増益を達成

営業利益は5億円上ぶれ

セオリー事業：日米で既存店売上高は増収、営業利益は予想上回る

ジーユー事業：既存店売上高20%強の増収、営業利益は大幅に上回る

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業：

営業利益は予想を下回り、減益

単位：億円

		2011年8月期		2012年8月期	
		上期実績		上期実績	
グローバルブランド事業	売上高	637	748	+17.4%	
	営業利益	51	79	+53.0%	
	(売上比)	8.1%	10.6%	+2.5p	

12

グローバルブランド事業の上期の売上高は748億円、前年同期比17.4%増、営業利益は79億円、同53.0%増と増収増益を達成いたしました。営業利益は直近の予想を5億円上回る水準となっております。

セオリー事業は、日米ともに既存店売上高の増収が続き、営業利益は予想を上回っております。

ジーユー事業は、この上期では既存店売上高が20%強の増収となり、営業利益は予想を大幅に上回りました。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業の営業利益は、予想を下回り、減益となりました。

【連結】2012年2月末 B/S

単位：億円

	2011年2月末	2011年8月末	2012年2月末	前年同期末比
総資産	5,503	5,337	6,080	+576
流動資産	3,884	3,699	4,336	+451
固定資産	1,618	1,638	1,743	+124
負債	2,270	2,138	2,069	▲201
純資産	3,232	3,199	4,010	+778

13

次に2012年2月末のバランスシートの説明をさせていただきます。

前年同期末との比較では、流動資産が451億円増加し、固定資産が124億円増加した結果、全体の総資産は576億円増加して、6,080億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】B/Sのポイント(前年同期末比)

現金・預金及び有価証券の増加 +470億円(2,514億円 ⇒ 2,984億円)

たな卸資産の増加 +127億円(749億円 ⇒ 877億円)

【国内ユニクロ事業】▲12億円減

新店24店舗増による在庫増 +10億円
冬物在庫の積み増し +7億円
春物在庫の減少 ▲29億円

【海外ユニクロ事業】+125億円増

店舗数が前年同期末比で84店舗増、グローバル旗艦店を3店舗出店

【グローバルブランド事業】+15億円増

ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大による在庫増

有形固定資産の増加 +166億円(504億円 ⇒ 670億円)

【海外ユニクロ事業】 店舗数が84店舗増、グローバル旗艦店3店舗の出店によるもの

為替予約勘定(負債)の減少 ▲374億円(521億円 ⇒ 147億円)

【国内ユニクロ事業】 為替予約の平均レート低下。ヘッジ会計適用、損益への影響なし

14

現金・預金及び有価証券の合計額は2,984億円と、前年同期末比で470億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業をはじめとする各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによるものです。

期末のたな卸資産は877億円と、前年同期末比127億円増加しております。国内ユニクロ事業の2月末の在庫は478億円と、前年同期末比12億円減少しております。新店24店舗増による在庫増が10億円、冬物在庫の積み増しが7億円、一方で春物在庫は29億円減少しております。春物在庫が減少したのは、この上期では戦略的にシーズン末まで冬物在庫をしっかりとって販売する計画としていたためです。海外ユニクロ事業の在庫は、前年同期末比で125億円増加しております。これは、2月末の店舗数が前年同期末比で84店舗増えたこと、グローバル旗艦店を3店舗出店したことによるものです。グローバルブランド事業の在庫は、前年同期末比で15億円増加しております。これは、ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大に伴って在庫が増加したためです。

有形固定資産は、前年同期末比で166億円増加しております。海外ユニクロ事業で店舗数が前年同期比84店舗増加したこと、グローバル旗艦店を3店舗オープンしたことが主な要因です。

なお、為替予約勘定は負債側で147億円と、前年同期末比で374億円減少しております。為替予約は国内ユニクロ事業で、従来通りの長期的なヘッジ方針に従って、定期・定量で執行しているものですが、過去数年続いた急激な円高トレンドが最近落ち着いてきており、保有する為替予約の平均予約レートとスポットレートの乖離幅が大きく改善してきたことから、為替予約勘定が減少したものです。なお、損益につきましては、ヘッジ会計を適用していることから影響はございません。

【連結】上期 キャッシュ・フロー

単位：億円

	2011年8月期 上期累計	2012年8月期 上期累計	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	＋785	＋1,237	
税金等調整前純利益	＋667	＋926	ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献
減価償却費、のれんの償却額	＋143	＋117	
運転資金の増減額	＋99	＋246	売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額
法人税等の支払い・還付	▲178	▲27	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲123	▲205	
有形固定資産の取得による支出	▲67	▲136	出店拡大に伴う投資
無形固定資産の取得による支出	▲59	▲53	システム投資など
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲151	▲100	
配当金の支払額	▲117	▲89	期末配当金1株あたり85円の支払
現金及び現金同等物の増加額	509	963	
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	2,021	
現金及び現金同等物の期末残高	2,514	2,984	

15

次に上期のキャッシュ・フローについてご説明いたします。

営業活動によるキャッシュ・フローは、ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献により1,237億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは205億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、有形固定資産の取得で136億円、システム投資などによる無形固定資産の取得で53億円となっております。

なお、上期の連結ベースの設備投資額は224億円、内訳としては、国内ユニクロ事業で64億円、海外ユニクロ事業で90億円、グローバルブランド事業で13億円、システム投資で55億円となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、100億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、配当金の支払額89億円となっております。

以上の結果、2012年2月末における現金及び現金同等物の期末残高は2,984億円となりました。

売上高 : 9,415億円 (前年同期比+14.8%)
営業利益 : 1,380億円 (前年同期比+18.6%)
経常利益 : 1,375億円 (前年同期比+28.4%)

単位: 億円

	2011年8月期 通期実績	2012年8月期		2012年8月期	
		直近予想 (1/12時点)	前期比	修正予想 (4/12時点)	前期比
売上高 (売上比)	8,203 100.0%	9,370 100.0%	+14.2%	9,415 100.0%	+14.8%
売上総利益 (売上比)	4,257 51.9%	4,785 51.1%	+12.4% ▲0.8p	4,835 51.4%	+13.6% ▲0.5p
販管費 (売上比)	3,094 37.7%	3,480 37.1%	+12.5% ▲0.6p	3,455 36.7%	+11.7% ▲1.0p
営業利益 (売上比)	1,163 14.2%	1,305 13.9%	+12.1% ▲0.3p	1,380 14.7%	+18.6% +0.5p
経常利益 (売上比)	1,070 13.1%	1,255 13.4%	+17.2% +0.3p	1,375 14.6%	+28.4% +1.5p
特別損益	▲132	▲40	-	▲30	-
当期純利益 (売上比)	543 6.6%	700 7.5%	+28.8% +0.9p	815 8.7%	+49.9% +2.1p

16

ここからは、2012年8月期の通期業績予想についてご説明いたします。

まず売上高は、上期の実績分を反映し、直近予想の9,370億円から9,415億円へ、45億円増額修正いたします。

営業利益は、直近予想の1,305億円から1,380億円へ、75億円増額修正いたします。

経常利益は直近予想の1,255億円から1,375億円と、120億円増額修正いたします。

当期純利益については、直近予想の700億円から815億円へ、115億円増額修正いたします。

今期は2期ぶりに、過去最高益を更新する予想です。

国内ユニクロ事業 : 業績を増額修正
 海外ユニクロ事業 : 変更なし
 グローバルブランド事業 : 変更なし

単位: 億円

		2011年8月期		2012年8月期		2012年8月期	
		通期実績	直近予想 (1/12時点)	前期比	修正予想 (4/12時点)	前期比	
国内ユニクロ事業	売上高	6,001	6,290	+4.8%	6,335	+5.6%	
	営業利益	1,062	1,065	+0.3%	1,110	+4.5%	
	(売上比)	17.7%	16.9%	▲0.8p	17.5%	▲0.2p	
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,600	+70.7%	1,600	+70.7%	
	営業利益	89	170	+89.9%	170	+89.9%	
	(売上比)	9.6%	10.6%	+1.0p	10.6%	+1.0p	
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,450	+16.9%	1,450	+16.9%	
	営業利益	87	135	+53.6%	135	+53.6%	
	(売上比)	7.1%	9.3%	+2.2p	9.3%	+2.2p	

注 連結売上高には上記のほか、ファーストリテイリングの売上高が含まれております。
 また、連結営業利益には、上記のほかファーストリテイリングの営業損益、のれん償却費が含まれております。

※1 国内ユニクロ事業:2011年8月期には靴専門店事業の売上高42億円、営業損失▲14億円が含まれております。
 靴専門店事業は2011年8月末までに全店舗を閉店しており、2012年8月期には含まれておりません。

17

国内ユニクロ事業の業績予想につきましては、上期の上ぶれ分を反映させ、通期の売上高、および営業利益はそれぞれ45億円増額修正いたしました。

海外ユニクロ事業の業績予想については、上期で営業利益は若干上ぶれいたしました。英国及び米国事業の業績を慎重に捉え、通期では修正しておりません。

グローバルブランド事業の業績予想についても、通期での修正はしておりません。

売上高: 6,335億円 (前期比+5.6%)

営業利益: 1,110億円 (前期比+4.5%)

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期		2012年8月期	
	通期実績	直近予想 (1/12時点)	前期比	修正予想 (4/12時点)	前期比
売上高 (売上比)	6,001 100.0%	6,290 100.0%	+4.8%	6,335 100.0%	+5.6%
売上総利益 (売上比)	2,949 49.1%	3,050 48.5%	+3.4% ▲0.6p	3,085 48.7%	+4.6% ▲0.4p
販管費 (売上比)	1,886 31.4%	1,985 31.6%	+5.2% +0.2p	1,975 31.2%	+4.7% ▲0.2p
営業利益 (売上比)	1,062 17.7%	1,065 16.9%	+0.3% ▲0.8p	1,110 17.5%	+4.5% ▲0.2p

こちらのスライドは、国内ユニクロ事業の通期業績予想となっております。

2012年8月期 配当金予想

中間配当金 130円を予定
年間配当金 260円を予想

	1株当り配当金		
	中間	期末	通期
2010年8月期	115円	115円	230円
2011年8月期	95円	85円	180円
2012年8月期(10/12予想)	115円	115円	230円
2012年8月期(修正予想)※	130円	130円	260円
修正額	+15円	+15円	+30円

※ 2012年8月期の中間配当については4月12日開催の取締役会にて決議しております。
なお、業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

19

最後に、2012年8月期の1株当り配当金についてご説明いたします。
本日の取締役会にて、今期の中間配当金を、1株当り130円と決議いたしました。
これは従来の予想から、15円の増額となっております。

また、期末配当金についても1株当り130円と予想を変更しております。
この結果、年間の配当金は1株当り260円を予想しております。

以上で私からの説明を終わります。

ありがとうございました。

【連結】通期の業績予想修正額

単位：億円

	直近予想(1/12)と 上期実績の差額		通期予想修正額(4/12)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内ユニクロ事業	+45	+42	+45	+45
海外ユニクロ事業	0	+15	0	0
グローバルブランド事業	0	+5	0	0
ファーストリテイリング	0	+30	0	+30
連結	+45	+92	+45	+75



営業利益		+92		+75
営業外収支		+43		+45
経常利益		+135		+120
特別損益		+11		+10
税引き前利益		+146		+130
当期利益		+122		+115

	2011年8月期	2012年8月期		
	実績	直近予想 (1/12時点)	修正予想 (4/12発表)	前年同期比
売上高	6,001 億円	6,290 億円	6,335 億円	+5.6%
既存店伸び率(通期)	▲6.0%	+0.7%	+1.9%	-
上期(実績)	▲9.9%	+0.2%	+2.3%	-
下期(予想)	+0.4%	+1.3%	+1.3%	-
店舗数純増(通期)	34店舗	8店舗	9店舗	▲25店舗
上期(実績)	16店舗	7店舗	6店舗	▲10店舗
下期(予想)	18店舗	1店舗	3店舗	▲15店舗
売上高総利益率(通期)	49.1%	48.5%	48.7%	▲0.4p
上期(実績)	49.5%	47.9%	48.2%	▲1.3p
下期(予想)	48.6%	49.3%	49.3%	+0.7p
売上高販管费率(通期)	31.4%	31.6%	31.2%	▲0.2p
上期(実績)	29.0%	29.0%	28.4%	▲0.6p
下期(予想)	34.7%	34.9%	34.9%	+0.2p

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	2011年 8月期 期末	2012年8月期							
		上期 実績(2012/2末)				通期 予想(2012/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	1024	72	13	+59	1,083	146	27	+119	1,143
国内ユニクロ事業:	843	17	11	+6	849	32	23	+9	852
直営店	822	16	10	+6	828	31	22	+9	831
大型店	129	14	1	+13	142	20	2	+18	147
標準店等	693	2	9	▲7	686	11	20	▲9	684
FC	21	1	1	0	21	1	1	0	21
海外ユニクロ事業:	181	55	2	+53	234	114	4	+110	291
中国(除く香港)	80	33	0	+33	113	63	1	+62	142
香港	15	1	0	+1	16	1	0	+1	16
台湾	1	6	0	+6	7	16	0	+16	17
韓国	62	6	0	+6	68	20	1	+19	81
シンガポール	5	0	0	0	5	2	0	+2	7
マレーシア	2	1	0	+1	3	2	0	+2	4
タイ	0	3	0	+3	3	4	0	+4	4
フィリピン	0	0	0	0	0	1	0	+1	1
英国	11	2	1	+1	12	2	1	+1	12
米国	1	2	0	+2	3	2	0	+2	3
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	2
ロシア	3	0	1	▲1	2	0	1	▲1	2
ジーユー事業	148	18	2	+16	164	35	9	+26	174
セオリー事業※	371	16	16	0	371	21	21	0	371
コントワー・デ・コトニエ事業※	386	7	6	+1	387	9	8	+1	387
プリンセス タム・タム事業※	159	0	3	▲3	156	3	6	▲3	156
総 合 計	2,088	113	40	+73	2,161	214	71	+143	2,231

※ FC店含む

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2012年8月期 第2四半期(6ヶ月平均)	77.2	104.9	122.0	12.2	6.8
2011年8月期 第2四半期(6ヶ月平均)	82.8	111.3	130.1	12.4	7.1
2012年8月期 通期予想レート(10/12時点)	80.0	105.0	120.0	12.0	7.0
2011年8月期 通期実績(12ヶ月平均)	82.0	113.2	131.1	12.4	7.0

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2012年8月期 第2四半期実績(6ヶ月累計)	224	86	31
2011年8月期 第2四半期実績(6ヶ月累計)	162	110	32
2012年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	360	160	56
2011年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	339	187	65

※ 2011年8月期の減価償却費実績には、固定資産減価償却の一括償却分40億円を含む

会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円

物流費一括償却 ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

固定資産の減価償却費一括償却 ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準を統一したことに伴う、過去分一括償却

資産除去債務過去分一括償却 ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

その他の特別損失 合計 38億円

災害による損失 ▲10億円

東日本大震災に伴うもの

減損損失 ▲ 8億円

プリンセス タム・タム事業にかかるのれんの減損 5億円含む

事業整理損失引当金繰入額 ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの